

問合せ先
愛知県知的所有権センター
特許流通アドバイザー 原口邦弘
電話 0566-24-1841 (内線 636)

ニホンザルによる被害を防ぐ電気柵を製品化 ～ライセンス契約調印式を開催～

現在日本国内広い範囲でニホンザルによる農作物の被害が発生しております。
京都大学霊長類研究所（犬山市）の室山助教授は、その対策として軽量部材（ロープ、ネット）を使用することにより、簡易に、安いコストで設置でき、サルを傷つけることなく撃退する「電気柵（ニホンザル撃退装置）」を発明し、特許を取得しました。
このたび、タマティーエルオー(株)と愛知県知的所有権センターの仲介により、福井ファイバーテック(株)（豊橋市）がこの電気柵を製品化し、販売することとなりました。
ついては、特許ライセンス契約調印式を下記のとおり開催します。

記

1 調印式

- (1) 日時：平成18年8月7日14時
- (2) 場所：犬山市官林 京都大学霊長類研究所
- (3) 調印式出席者：霊長類研究所 松沢所長 福井ファイバーテック 福井社長
- (4) 調印式終了後、発明及び製品の説明会を実施します。

2 電気柵の特徴

本発明は、ニホンザルによる農作物の被害を防ぐため、ハウス栽培用の鋼管パイプに金属線をより込んだネットを取り付け、一番上に金属線をより込んだロープとの間に電圧をかけた構造となっており、従来の鋼鉄製のネットに比較して軽く（約5分の1）、かつ安価（半分以下）であり、サルを傷つけることなく撃退できる電気柵。製品は、10月頃販売予定。

3 京都大学霊長類研究所

所在地 愛知県犬山市官林
所長 松沢 哲郎

研究の概要 近年、野生ニホンザルによる人里への接近や農作物被害が全国的に増加しており、日本固有種であるニホンザルの保護・管理がますます重要になってきている。農作物被害について、ニホンザルの生態・行動はもとより、農地管理などの人間の活動も含めて多面的な研究と、被害管理手法の開発を行なっている。

発明者 室山泰之 京都大学霊長類研究所 ニホンザル野外観察施設 助教授（理学博士）

4 福井ファイバーテック株式会社

所在地 愛知県豊橋市中原町岩西 5-1

代表者 代表取締役 福井英輔

資本金 9千500万円 従業員 70人

会社概要 漁網、産業用ネット、FRP製品、カーマット製造

(参考)

・タマティーエルオー株式会社<承認TLO>

所在地 東京都八王子市旭町9番1号 八王子スクエアビル 11階

代表者 代表取締役社長 井深 丹

資本金 3,120万円 従業員 15人

会社概要 平成12年7月設立の承認TLO。首都圏域の多数の大学（首都大学東京、創価大、工学院大、明星大、青山学院大、法政大など16大学）と企業との連携を強めつつ、一方で全国の研究者、大学、企業に広く門戸を開放して、大学発技術シーズの特許化、技術移転、産学連携共同研究開発等を推進。京都大学とは技術移転業務契約を締結。

本件への関与

京都大学との技術移転業務契約に基き、平成17年7月に今回の特許（電気柵）を取り上げ実施候補企業の探索を開始。関東圏と愛知県の2ルートで多様な人脈等を活用して活動。今年（平成18年3月）に愛知県知的所有権センターの有力候補企業（福井ファイバーテック殿）に一本化した。当然契約に関しては京都大学知財部の意見聴取。

・愛知県知的所有権センター

所在地 刈谷市一ツ木町西新割（愛知県産業技術研究所内）

業務内容

特許流通アドバイザーと特許情報活用支援アドバイザーを配置し、特許取引、技術移転に関する相談、が特許電子図書館（IPDL）の利用法等について相談に応じている。

本件への関与

タマティーエルオーからの紹介を受け、特許流通アドバイザーが、福井ファイバーテックに特許を紹介し、京都大学と福井ファイバーテックの契約に至るまでの技術的問題の伝達及び契約に関する福井ファイバーテック側の意見聴取